

I 教育目標

『にこにこ 元気に やりぬく子』

- すすんで学ぶ子（自ら学び、自ら考え、主体的に行動する子）
- 思いやりのある子（自他を大切にする、互いに認め合い、支え合う子）
- やりぬく子（困難に負けず、最後まで粘り強くやりとげる子）

多様性が尊重される社会の中で、生きてはたらく力を付けるために「すすんで学ぶ子」を重点として、教育課程を編成する。

II 経営方針

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな教育活動を創造する学校 ○こどもの思いや考えを教育活動に生かす学校 ○保護者・地域と一緒に学びを作る学校
目指す児童像	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで考え、学ぶことを楽しむこども ○よさを認め合い、自他を大切にするこども ○よく学び、よく遊び、健やかに育つこども
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○こどもの可能性と成長を信じる教師 ○学び続け、こどもとともに成長する教師 ○辰巳を愛し、保護者や地域の思いに共感し、寄り添う教師

経営理念	<p style="text-align: center;">「一人一人がかがやく「こどもまんなか」の学校」</p> <p style="text-align: center;">こどもたち一人一人の思いや考えを大切にし、安心して学ぶことができるようにして、こども・教職員・保護者・地域のみなが笑顔になる学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「江東区子どもの権利に関する条例」を教育活動の基盤に据え、こどもの意見表明や学校づくりへの参加を進める ◇こどもの姿や地域の現状に即して、教育課程の編成・実施・評価・改善を継続的に行う ◇各教科とのつながりを意識し、資質・能力を総合的に育成する <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもち、表現する子を目指し、「こどもとともに学ぶ授業」を展開する。 ・ICTを活用した授業を推進し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。 ・自他を大切にし、互いに認め合い、支え合う中で、自己肯定感の高い子にする。 ・道徳教育の充実を図り、自分とは異なるものの見方や考え方を認めるとともに、違いを対等なものとしてつながることを学び合う。 ・特色ある教育として、縦割り班活動、幼保小中の連携教育、生き物の飼育栽培、金管バンドなどを通して、様々な人とながかり、協働する活動の充実を図る。 ・体力・運動能力、生活運動習慣等調査の結果から、自分に合った目標をもち、意欲的にその向上を目指す子を育成する。
------	--

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		確かな学び
中期経営目標	児童一人一人の能力に応じた指導と、ICT機器の活用等により、確かな学力と自ら主体的に学ぼうとする意欲を育む。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が主体的に学習し、より深く学ぶことによって確実に身に付けられるよう、自力解決の時間と、学び合いのある授業を行う。 ○全国学力・学習状況調査と、こうとう学びスタンダード定着度調査の結果を分析し、児童の学習状況や教師の指導の課題を明らかにし、工夫と改善を行う。 ○一人一人の児童の能力に応じた指導を行うとともに、基礎・基本を確実に定着させて、学習に対する意欲を高める。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「こうとう学びスタンダード」学び方スタンダードを90%以上の児童に定着させ、その内容の意図を伝えられる教師を100%にする。	「こうとう学びスタンダード」学び方スタンダードで、「よくできる」と回答する児童を85%以上にする。
2	国語・算数・英語スタンダード定着度調査の結果を基に、重点目標を設定し、授業改善に積極的に取り組む教師を95%以上にする。	スタンダード定着度調査（5年）、全国学力学習状況調査（6年）の結果を、江東区平均の98%以上にする。
3	毎時間の学習を工夫し、児童が主体的に学んだり話し合ったりして、児童の学習の満足感を高めることができる教員を95%以上にする。	「進んで学習することができた」「先生は授業でわかりやすく教えてくれる」と回答する児童を92%以上にする。
4	個別最適な学びと協働的な学びの実現のため、ICT機器の積極的な活用を図る。	「タブレット端末を使った学習に、意欲的に取り組んでいる」と回答する児童を90%以上にする。
5	Challenge Wednesday を活用し、児童が主体的に学ぶ習慣を身に付けることができるように働きかける。	「Challenge Wednesday では、調べ学習や自分で考えた学習にすすんで取り組んでいる」と回答する児童を90%以上にする。

重点領域 2		豊かな心
中期経営目標	違いを認め、多様性を尊重するとともに、自他の大切さに気付き、お互いのよさを認めることができるようにする。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分にはよいところがたくさんある」「いじめはどんな理由があっても絶対にしてはいけない」ことを、全教科・領域を通して取り組む。 ○「こどもの権利」について学ぶ機会を設け、互いの権利と多様性を尊重し合う共生の精神を育む。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	自他を大切にし、互いに認め合い支え合う中で自己肯定感を高める心の教育の充実を図る。	「自分によりよいところがあると思う」と回答する児童を100%にする。
2	年間を通して「あいさつリーダー運動」を行うとともに、教師が明るく元気で、気持ちのよい挨拶をする。	「先生や保護者、地域の方々にすすんで挨拶をしている」と回答する児童を90%以上にする。
3	いじめの未然防止に向けて、児童が主体的に取り組む活動を支援するとともに、問題行動の早期発見、早期対応、早期解決に、全教職員で取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は楽しい」と回答する児童を95%以上にする。 ・「いじめはどんな理由があっても絶対にしてはいけない」と回答する児童を100%にする。
4	スマイルチーム（縦割り班）活動を計画に基づいて実施する。	「協力し合えた」と回答する児童を95%以上にする。

5	学校飼育動物（ウサギ）や、各学級で飼育栽培している動植物を大切にするとともに、各教科・領域において、生命尊重の教育を行う。	学校や学級でお世話している生き物を大切に思い、すすんで世話をすることができた」と回答する児童を90%以上にする。
---	---	--

重点領域3		健やかな体
中期経営目標	生活・運動習慣、体力・運動能力等調査の結果から、実態把握と評価・分析に基づく授業改善を行い、生活・運動習慣、体力・運動能力の向上に努める	
短期経営目標	○自己の健康に関心をもたせるとともに、学年・学級や、個人ごとに体力・運動能力の目標を設定し、積極的に取り組むことができるようにする。 ○運動することの楽しさを味わい、すすんで運動しようとする。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	外で元気に遊ぶ児童を育てるため、中休みに週に1回以上、児童とともに外遊びをする。	「すすんで外遊びをした」と回答する児童を90%以上にする。
2	「こうとう学びスタンダード」体カスタンダードの内容にそった、自分の目標が立てられる児童を90%以上にするるとともに、自分の目標が達成できた児童を90%以上にする。	「こうとう学びスタンダード」体カスタンダードの内容に沿った自分の目標を立て、その達成に向けて努力する児童を90%以上にする。
3	「長チャレ」や「ジョギング週間」などを行い、運動の楽しさを味わえるようにする。	「体育の授業や朝の取り組みでは、すすんで楽しく運動に取り組むことができた」と回答する児童を90%以上にする。
4	生活習慣や生活リズムを整えるために、折に触れて指導するとともに、家庭と連携を図り、「早寝・早起き・朝ご飯」等の習慣の定着を図る。	「早寝・早起き・朝ご飯が毎日出来ている」「手洗い・うがいをしっかり行っている」と回答する児童を100%になるようにする。

重点領域4		保護者・地域、外部との連携
中期経営目標	地域社会の一員として、地域を愛し、郷土への誇りと豊かな国際感覚をもち、地域を担う人をつくるために、保護者・地域と連携を図る。	
短期経営目標	○地域の教育資源や地域人材・保護者ボランティアを取り入れた、特色ある教育活動を推進し、地域を愛する心を育て、地域・保護者からの信頼を得る。 ○保護者・地域と連携し、教育活動への理解や協力を図り、児童の健全育成を進める。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	地域学校協働本部や地域ボランティアと連携し、ホームページの更新や学校便り、学年便り、保護者会や個人面談等を活用し、教育活動を公開することで、保護者・地域の学校への理解や信頼を高める。	・保護者アンケートで「ホームページや学校便り個人面談等で児童の学習や生活の様子がわかりやすい」の回答を95%以上にする。 ・保護者アンケートで「児童・学校・地域の特色を生かした教育活動を行っている」の回答を95%以上にする。
2	「保幼小中連携事業」の一環である「三校連絡会」に積極的に関わり、各校の課題と取り組みを知り、自校の指導に生かす。	保護者アンケートで「地域と協力して教育活動に当たっている」の回答を95%以上にする。
3	・教員とスクールカウンセラーによる全員面談を行う。 ・スクールソーシャルワーカーと連携を図り、安心して過ごせる学校を目指す。	保護者アンケートで「学校には、児童が願いや悩みを話せる場所があると思う」の回答を、95%以上にする。
4	キャリア・パスポートを活用し、年3回の個別面談等を通じて、児童の自己実現や主体的な進路選択を支援する。	キャリア・パスポートの振り返りを通して、「自分の成長や良さに気付くことができた」と回答する児童を、90%以上にする。